



大嘗祭当日祭に奉納された西川内錢太鼓踊り

社報
あそ
みや

平成2年12月28日
第4号
発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
TEL 0957-43-5235

年頭有感

阿蘇神社

宮司大島大明

新年明けましておめでとうござります。氏子・崇敬者皆様方のご多幸を祈念申し上げますと共に本

年も宜しくお願ひ申し上げます。

一連の儀式を恙なく斎行せられました。寔に慶賀すべきことあります。

阿蘇作社でも即位礼當日祭・大嘗祭當日祭を斎行、両日とも多数の参列者のもと厳粛に祭典を奉仕致しました。

常に世界の平和を祈られている天皇（皇室）の心のうちを察する事が出来ます。

ご先祖より引き継がれます、陛下の大御心（おおみこころ）を私たちも常に心として、一日一日を大切に過ごしたいのです。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて、向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
国の隆昌と世界の共存共榮とを祈ること

奉祝 平成御大典



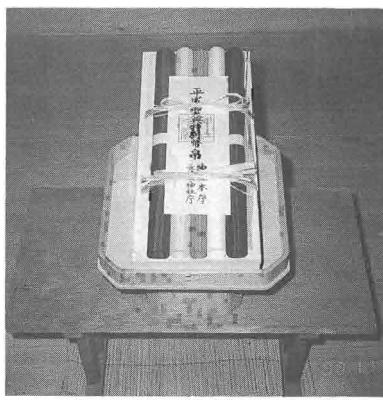
あそみや

秋晴れの十一月十二日、天皇陛下即位礼正殿の儀の当日、午前十時より即位礼当日祭を斎行した。多良見町町長、多良見町商工会长、他氏子崇敬者約六十余名の参列のもと厳粛に祭典を終了した。

祭典に引き続き境内で奉祝式典を挙行した。式典では先ず皇居を遙拝、国歌君が代を、参列者全員で声高々に齊唱した。祝辞の後、北川商工会長の発声により、天皇三唱した。阿蘇神社総代会より奉納された樽酒の鏡を割り、式典を終了した。樽酒は終日参拝者によるまわれた。

また当日は、大嘗祭を奉祝して多良見町の伝統芸能である西川内銭太鼓踊りが、境内で賑やかに奉納され、参拝者から大きな声援を受けた。

両日とも好天候に恵まれ、終日多くの参拝があり、両日受付をした天皇陛下へのお祝い記帳は四八名を数えた。



十一月二十三日には午前九時より大嘗祭当日祭を、神社本庁・長崎県神社庁よりの特別幣帛、神社庁西彼支部の献穀米が神前に供えられ、約四十名の参列のもと厳粛に斎行した。

皇室の弥栄とともに国民が幸福であり、世界が平和でありますことを神前に祈念申し上げました。

奉 納 御 礼

即位礼当日祭・大嘗祭当日祭に際し、神前に奉納いたしました皆様方に心よりお礼申し上げます。

△敬称略

○初穂・新米・野菜 山口充喜
○ミカン 浦田 一
○樽酒 阿蘇神社総代会
○献酒 十八銀行多良見町支店長 島崎昭博、古沢妙心、多良見町
碎石 石場照喜

○初穂料 山本憲治、中村 執

倉永みさを、橋本武好、石場照喜

喜、桜井治夫、山口 優、前山

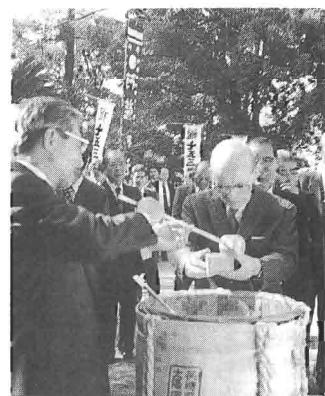
徳大、川島作蔵、堀江一喜、石

丸義雄、浦田 一、森開発 森

強、山口多好、北島勇夫、親和銀行多良見支店長 福崎 進

西川内銭太鼓保存会、

御大典を記念して神社に奉納を賜りました。お礼申し上げます。
○境内整備玉砂利 六トン
多良見採石 石場照喜 殿
○拌殿用ストーブ 二台
サンキョウ電気
○樽酒 二斗
阿蘇神社総代会
蔭山 明殿
殿
○その他毎月境内の清掃奉仕をされます阿蘇区老人会、多良見町ラ イオンズクラブ、遺族会の皆様にお礼申し上げます。



謹 賀 新 年

総代会長	北島 勇夫
副会長	山口 充喜
総代	森 肇
監事	大庭 英雄
全	坂田 公治
全	本島 吉松
全	篠野 末吉
全	松永 里見
全	大庭 豊明
全	平野 豊明

氏神さまと私たち

人生儀礼④

私たちは、この世に生を受けてより、両親を始め、ありとあらゆる人、天地自然の恵を受けて生きて行きます。常に感謝の心を忘れず、人生の節目には氏神様に参拝いたしましょう。

一、初詣

日頃は神社・お寺など無縁としている人でも、お正月が来ると、なにかしら改まつた気分になり、初詣に出かけるようです。あわただしい年末とは違い、お正月は合う人すべて晴々とした気持に満ち足りています。

一年を振り返ると、楽しいことの他に、辛いこと、悲しいこと等気持が沈むことがあります。神様・仏様は楽しいことはそれ以上に、また沈んだ気持はリフレッシュして、心を奮い起たせ、目標に向かって生きる力を与えて下さります。

日本がここに集まる 初詣

(山口聰子)

此の句には、日本の社会全体が

お正月の初詣に集まり、ここをを起点として新しい歳が始まる、と云う気持が窺えます。初詣とは日本全体が心をリフレッシュし、清々しい気持で新しい歳の、新しい目標に向かって生きていく為の出発点と考えられます。



一、家内安全・商売繁盛

【一年の計は、元旦にあり】今年

一年が、更に飛躍できる年であるようご家族、また会社社員揃って参拝いたしましょう。神社では隨時祈願祭をいたしております。

お祓いをお受けになる場合は、お手数ながら、事前に社務所まで連絡をお願いいたします。

電話 四三一五三五番

神社 Q & A

大祓い

神社では古来より六月と十二月にそれぞれ半年間に知らず知らずに犯した罪汚れを祓い清め清々しい心に立ち返るよう大祓を行っています。

特に十二月の大晦日の夕方に斎行します大祓いは、新年を清々しい身体で迎えることを祈念して行われます。



年末に神宮大麻とともに各戸

に配られる人形は、この大祓いに各自の身代わりとして納めるものです。人形

を開き（阿形で陽）、雌は口を開き（吽形で陰）ています。

狛犬の様子を改めて見ますと、力強く、ア・ウンと云つておる

ように見えます。

新年を迎える各地の神社に詣でることが多いことと思いますが、鳥居の側、また社殿の傍らに静かに座り、力強く神社を守る狛犬の姿を見ていただきたいもの

です。

神社では毎年大晦日の午後四時より境内で大祓式を斎行しています。時期的に忙しい頃とは思いますが、より多くの人に参列していただきたいと思いまので、ご家族・ご近所お誘い合わせご参列下さい。

ガ・多良見

西川内銭太鼓踊り

十一月二十三日の大嘗祭当日祭に境内で奉納された西川内銭太鼓踊りは、ご承知のように先の長崎旅博に、多良見町を代表して出演いたしました。

西川内地区には、水田缶水用の堤(ダム)が上下に並んで二つあります。俗に夫婦堤とも呼ばれておるそうですが、これは昔の諫早候に依り築かれたもので、その年代については明らかではありません。

銭太鼓踊りは、伝える処によると、その後安政六年、井樋の改修工事が行われた時、工事完成の慶事に第十五代諫早領主一諫早武春候の前で披露されたと云います。

それ以来、主として喜々津に伝わる浮立の行列の先駆けとして踊ります。

- ◎お正月は、新しいお神札をお受けするのが日本人の慣習です。
- ◎神宮大麻、阿蘇神社お神札をご家庭にお祀り致しましよう。
- ◎古いお神札、お守り、その他の縁起物は節分までに神社に納めて下さい。節分の日の夜、火焼神事を行います。



節分豆撒き行事
歳男・歳女を募集

二月三日の節分の豆撒き行事に参加される歳男・歳女の申込みを受付しております。
未(ひつじ)歳生まれの方ならどなたでも参加できます。参加希望者は神社まで申込みをお願いします。

記

一、日時 二月三日節分 夕方
詳細は後日通知します。

一、定員 十八名

男女不問・子供も可

(六名につづ三回行います。)

一、参加料 大人 八、〇〇〇円
子供 五、〇〇〇円

節 分 祭

◆編集後記◆

厄入り	男	昭和二六年	生
女	昭和三四年	生	
厄払い	男	昭和一五年	生
女	昭和三年	生	
還暦	男	昭和四二年	生
高稀	女	昭和四八年	生
臺寿	昭和五四年	生	
米寿	昭和五四年	生	
十三参り	大正元年	生	
明治三七年	大正四年	生	
昭和五四年	大正十一年	生	
生	昭和二六年	生	

節分とは、春夏秋冬の季節の分かれを云いますが、現在では、冬から春に移る立春の前日を節分と指すようになりました。

災難をもたらす悪鬼を豆撒きをして追い払い、清々しい気持で春を迎えるとするのが現在の節分行事です。

- ◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)
- イーグルパチンコ
- 神社参拝の駐車場としてもご利用下さい

平成三年算賀